

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	京都府	事業実施主体	宇治市	地域再生計画名	将来にわたって安心して暮らせる「ふるさと宇治」の創造計画
計画期間	令和2年度～令和5年度	評価責任者	宇治市 上下水道部長 蒲原 功		

	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度		年度	中間実績		基準年度						最終実績
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	目標 1	汚水処理施設の整備の促進 （汚水処理人口普及率の向上）	96.3 （％）	H30	97.8 （％）	R3	97.2 （％）	99.1 （％）	R5	99.0 （％）	×	指標 総数	達成 数	住居地域を中心に整備を行う予定であったが、整備箇所の調整による工区の変更及び処理人口の減少により、汚水処理人口普及率の目標値を達成することができなかった。整備向上を目指す。
	目標 2	公共用水域の水質向上 （5つの中小河川等のBOD負荷量の減少）	33.6 （kg/日）	H30	27.9 （kg/日）	R3	18.3 （kg/日）	25.1 （kg/日）	R5	13.6 （kg/日）	○	2	1	下水道整備率の上昇に伴い平均BOD負荷量の数値が減少し、最終年度では目標値を下回ることができた。引き続き、汚水処理事業の整備に努め、公共用水域の水質向上を目指す。
②事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況				
	指標 1	普及啓発活動の強化 （接続率）の向上	84.8 （％）	H30	85.4 （％）	R3	89.0 （％）	85.6 （％）	R5	89.9 （％）	－			下水道整備率と接続率の向上により、上記のとおり公共用水域の水質向上（BOD負荷量の減少）が見られた。引き続き、向上を目指す。
	指標 2	住みたいまちの構築 市民の定住意向	57.6 （％）	H30	61.2 （％）	R3	－	63.6 （％）	R5	50.8 （％）	－			社会動態においては減少幅が年々縮小傾向にあり、改善がみられている。これまでの取り組みの成果と考えられる。さらに目標達成を目指す。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 （R3）	最終実績									
	地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業 （東宇治処理区、槇島処理分区）	延長 L=12,000m	延長 L=7,313m	延長 L=10,300m	道路管理者等との調整により、整備延長が計画を下回る結果となったが、引き続き調整を進め、整備を進める。								
		個人設置型浄化槽整備事業	箇所数 100基	箇所数 3基	箇所数 7基	最終実績は計画値を大幅に下回る結果となったが、引き続き浄化槽設置整備事業補助金制度の積極的な利用に向けてPRを行う。								
	その他の事業	汚水処理事業の普及啓発活動	公共下水道未接続世帯への接続依頼の強化、周知活動を行い普及啓発活動を実施する。			公共下水道接続率の向上により公共用水域の水質汚濁防止に寄与した。								
		地域美化清掃活動「クリーン宇治」	宇治市内各種団体および市民ボランティアにより清掃活動を行う			宇治川周辺を中心に継続的に活動することで「ごみのポイ捨てが発生しづらい環境づくり」に貢献し、環境への関心を高めている。								
		ポケットパーク緑化活動	地域住民等によりポケットパークの植樹および日常の維持管理を行う			ボランティア活動により、まちかどにやすらぎ空間を創造している。今後も、資材や花苗の提供を継続して支援する。								
		子ども環境学習会	地球温暖化に関する講演や体験型学習を行う			自然環境や地球温暖化に関する子ども向け学習会である。小学校でボランティア団体とともに学習会を実施することにより、児童が環境について自ら考え行動するきっかけづくりとしている。								
		計画外で独自に実施した事業	社会資本整備総合交付金事業	宇治川周辺地区以外の公共下水道および東宇治浄化センターの整備を実施			地方創生汚水処理施設整備推進交付金事業とともに、宇治市公共下水道を整備しており、今後も早期の整備完了に向けて事業実施を行う。							
下水道事業の広報活動	宇治川沿いの観光センターで宇治市マンホールカードを交付			PR効果もあり、下水道事業への理解へつながり、宇治川周辺の来客に役立った。										
④評価方法	関係部署による評価会議を開催後、学識経験者等の意見を求め、最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。													
⑤事後評価の公表方法	宇治市上下水道部下水道計画課のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	2つある目標のうち、2.対象河川の平均BOD負荷量の減少については下水道の整備を計画的に行ったことにより最終年度で目標を達成することができた。 しかしながら、1.汚水処理人口普及率については最終目標値を達成することができなかった。 なお、整備による波及効果については、市内中小5河川のBOD年平均測定値の最終年度で目標値を達成することができた。 その他事業についても継続的に活動することにより生活環境・水辺環境の保全に寄与することができた。													
⑦今後の方針等	地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用し、公共下水道については地域・地形の特性を考慮しながら今後も計画的に整備及び普及活動を進めていく。 また、合併処理浄化槽については、浄化槽設置整備事業補助金制度のPR活動を充実させることにより設置件数の向上を促すこととし、あわせて公共用水域の水質保全や水辺環境の改善を図っていく。													